



中村 博美 議員

**質問**  
きれいなまちづくり大作戦に  
取り組もう！

**答弁**  
道の駅開業に向けて、きれいな  
まちになるよう工夫をしていく

中村議員の  
質問動画



**議員**

令和5年3月にまち開きを予定しているアグリサイエンスバレー構想は、道の駅や民間施設、公園等で様々な取り組みが行える場所であり、市民の皆様は大きな期待を寄せている。しかし、現状は道路に草が生え、ごみが目立ち、市内を回遊して当市の魅力を感じていただけないような環境整備が行き届いていない。令和4年度中に主要道路をきれいに整備し、維持管理できるように市内全域で一斉に草刈りを行うことはできないか。

**都市建設部長**

市内一斉に草刈りを行うことは難しい。順次、市内の業者に依頼していく。

**議員**

令和4年度中に、市内一斉に道路の整備管理を行うような計画を考えていただきたい。そして、環境美化に向けて継続的に取り組むことを求める。

**市長**

市や県の予算には限界があるがしっかりと事業選択をしながら検討していく。道の駅開業は、たく



堀越 道男 議員

**質問**  
豊水橋の歩道の一方通行化を

**答弁**  
道路交通法上規制はできない

堀越議員の  
質問動画



**議員**

私が初当選した昭和54年の議会において真っ先に取り上げた問題が豊水橋の歩道の狭さについてである。市内の鬼怒川に架かる7つの橋の中で一番狭い1.2メートルであるのに対し、最新の玉台橋の歩道は4.5メートルもあり、改めて豊水橋の歩道の狭さを実感した。当時、歩道の拡幅について要望したところ、構造上の問題で歩道の拡幅はできないとの回答で、そのままにされている。豊岡に住む住民特に高齢者にとっては常に危険と恐怖を感じながら、相応の覚悟をもって橋を渡っている。私は、街の繁栄は豊岡なくてはあり得ないと思っている。

自転車は降りて通行するよう注意書きの看板はあるが、守っている人は見当たらない。上流側、下流側にある歩道をそれぞれ一方通行にできないか。

**都市建設部長**

豊水橋の歩道は1.2メートルと幅員も狭く、歩行者と自転車のすれ違いも難しい状況は認識しているが、構造上、両側の歩道を拡幅す

ると相当な荷重がかかるため、拡幅はできない。通行方法についても、一方通行にするという方法は道路交通法上規制は難しいため、自転車は降車して通行するよう看板を設置し周知している。

**議員**

300メートルもある歩道を自転車を降りている人は見かけない。住民の外出権の障害になっていることは間違いなく、住民の願いでつけられた歩道なので、やはり独立した歩道橋をつくる以外に解決策はない。豊岡の住民の一人としての市長の考えを聞きたい。

**市長**

県議の時に豊水橋の下流に人道橋を架けてとお願いした経緯もある。川西と川東の交流、地域経済の部分でも非常に大事な橋であるため、夢を捨てずに継続して県のほうに働きかけていきたい。

**議員**

夢話ではなく、本当に現実させるような運動をお願いしたい。

**【その他の質問】**

★平成27年9月関東東北豪雨災害支援について★農業問題について